

【ネットカンファレンス プレゼンテーション資料】
2016年度 決算
Be the Best, Be the One 2017

2017年5月9日
住友商事株式会社

将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

1. 2016年度 実績

BE THE BEST. BE THE ONE

(単位:億円)	2015年度 実績 ①	2016年度				2016年度 実績 ②	前期比 ②-①	2016年度 通期見通し (16/11公表)
		第1四半期 単独	第2四半期 単独	第3四半期 単独	第4四半期 単独			
当期利益	745	227	431	457	594	1,709	+963	1,300
基礎収益^{*1} (除く、減損損失)	1,932	411	509	606	741	2,267	+335	1,800
うち、資源ビジネス ^{*2}	△95	△60	27	88	106	161	+256	△100
うち、鋼管事業 ^{*2}	△61	△21	△44	△23	△37	△125	△65	△100
うち、その他非資源	2,087	491	526	541	672	2,231	+144	2,000
一過性損益	約△ 1,200	△ 140	△ 30	△ 150	△ 140	約△ 460	約 +740	約△ 400

〈 2016年度実績の概要 〉

- **資源ビジネス** : ✓ 資源価格上昇、コスト削減、販売数量増加により増益
- **鋼管事業** : ✓ 油価低迷の影響により減益
- **その他非資源** : ✓ メディア・生活関連 国内主要事業会社、不動産事業 堅調
✓ リース事業 堅調
✓ 船舶事業 減益 (海運市況低迷)
- **一過性損益** : ✓ (当期) チリ銅・モリブデン事業における減損損失 (△336億円)、
ボリビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当 等 あり
✓ (前期) 減損損失^{*3}、インドネシア自動車金融事業再編益 等 あり

(参考) 主要指標		2015年度 実績	2016年度 実績
為替	〈YEN/US\$〉	120.14	108.38
金利	LIBOR 6M(YEN)	0.11%	0.01%
	LIBOR 6M(US\$)	0.61%	1.20%
銅※	(US\$/MT)	5,502	4,863
亜鉛	(US\$/MT)	1,831	2,367
ニッケル	(US\$/lb)	5.32	4.55
鉄鉱石※	(US\$/MT)	56	59
原料炭	(US\$/MT)	93	165
原油	Brent※ (US\$/bbl)	52	44
	WTI (US\$/bbl)	45	48

*1 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金) × (1 - 税率) + 持分法による投資損益

*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

*3 合計: △1,951億円 (マダガスカルニッケル事業 △770、南アフリカ鉄鉱石事業 △183、Edgen Group △181、ブラジル鉄鉱石事業 △146、チリ銅・モリブデン事業 △140 等)

* ※印の商品は1-12月、その他の商品は4-3月の価格を記載

* 原料炭…強粘結炭(市場情報に基づく一般的な取引価格)

2. キャッシュ・フロー／財政状態

● キャッシュ・フロー実績

(単位：億円)

	2015年度	2016年度
営業活動	+5,997	+3,458
投資活動	△854	△1,807
フリーキャッシュ・フロー	+5,143	+1,651
▽		
<キャッシュ・イン>		
基礎収益キャッシュ・フロー*	+2,043	+2,106
減価償却費	+1,251	+1,143
資産入替による回収	約 +2,300	約 +1,800
その他の資金移動	約 +2,200	約 ±0
<キャッシュ・アウト>		
投融資実行	約 △2,700	約 △3,400

〈2016年度実績の概要〉

- **基礎収益キャッシュ・フロー**
 - ✓ コアビジネスが着実にキャッシュを創出 (J:COM、三井住友ファイナンス&リースからの配当等)
- **資産入替による回収**
 - ✓ バツ・ヒジヤウ 銅金鉱山権益売却
 - ✓ 爽快ドラッグ売却等
- **投融資実行**
 - ✓ アルファド Fyffes社買収
 - ✓ 米国ウイスキー取得等

* 基礎収益キャッシュ・フロー = 基礎収益 - 持分法による投資損益 + 持分法投資先からの配当

● 財政状態

2015年度末		2016年度末	
総資産 7.8兆円		総資産 7.8兆円	
流動資産 3.4兆円	その他の負債 1.9兆円	流動資産 3.3兆円	その他の負債 2.0兆円
非流動資産 4.4兆円	有利子負債 3.7兆円 (現預金Net後 2.8兆円)	非流動資産 4.4兆円	有利子負債 3.4兆円 (現預金Net後 2.6兆円)
	株主資本* 2.3兆円		株主資本* 2.4兆円
D/E Ratio(Net) : 1.2		D/E Ratio(Net) : 1.1	

〈2016年度実績の概要〉

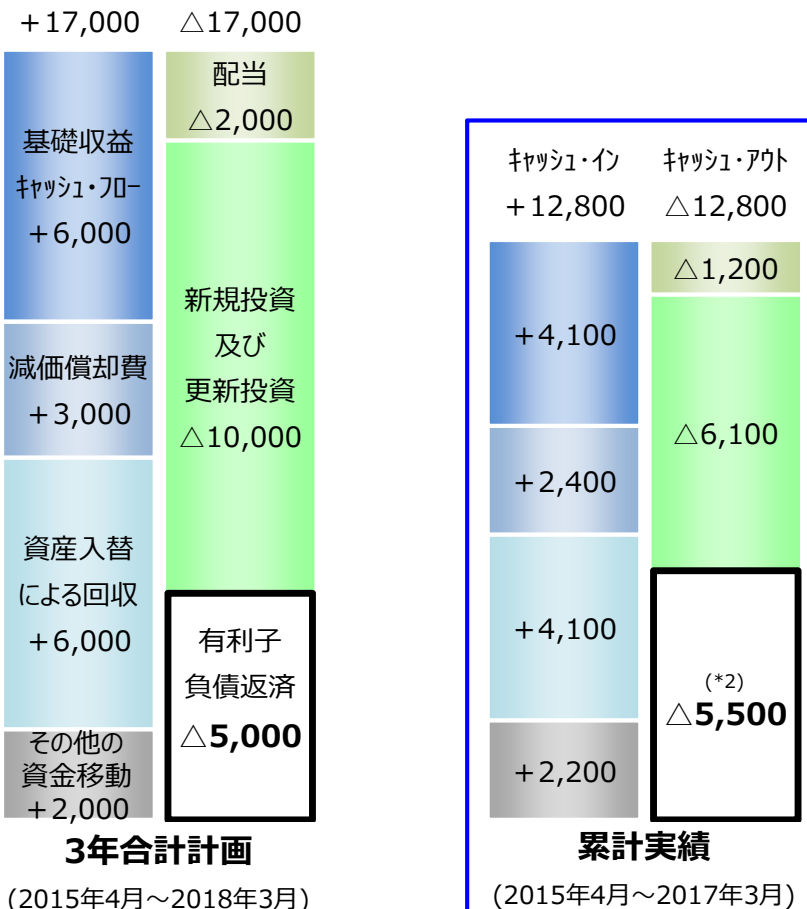
- **総資産 △560億円**
(78,178億円→77,618億円)
 - ✓ 資産入替による減少
 - ✓ 投融資実行による増加等
- **株主資本 +1,150億円**
(22,515億円→23,665億円)
 - ✓ 当期利益の積み上げ

	2015年度末	2016年度末
為替 (YEN/US\$)	112.68	112.19

* 株主資本…資本の内、「親会社の所有者に帰属する持分合計」内、「在外営業活動体の換算差額」：1,994億円→1,576億円、「FVTOCIの金融資産」：1,426億円→1,730億円

(参考) BBBO2017^(*)キャッシュ・フロー計画進捗

キャッシュ・イン キャッシュ・アウト (単位：億円)



(*) 当社は、2015年4月～2018年3月の3カ年を対象とする現行の中期経営計画「Be the Best, Be the One 2017(BBBO2017)」において、3年合計で配当後フリーキャッシュ・フローを5,000億円確保し、回収した資金で有利子負債を返済する計画としております。尚、2016年5月公表の計画より、以下の見直しを行い、上記は見直し後の数値を記載しております。
 ・基礎収益キャッシュ・フロー +1,000 (+6,000 ← +5,000)
 ・その他の資金移動 △1,000 (+2,000 ← +3,000)

(*)2 配当後フリーキャッシュ・フロー累計実績のマイナス値を記載しております。

3. 2017年度 通期予想

BE THE BEST. BE THE ONE

(単位:億円)	2016年度 実績 ①	2017年度 通期予想 ②	前期比 ②-①	2017年度 修正計画 (16/5公表)
当期利益	1,709	2,300	+591	2,200 以上
基礎収益^{*1} (除く、減損損失)	2,267	2,600	+333	2,400 以上
うち、資源ビジネス ^{*2}	161	300	+139	△100
うち、鋼管事業 ^{*2}	△125	0	+125	100
うち、その他非資源	2,231	2,300	+69	2,500以上
				(為替の影響) △100
一過性損益	約 △ 460	^{*3} 約 △ 200	約 +260	約 △ 200

〈 2017年度通期予想の概要 〉

- **資源ビジネス** : ✓ 資源価格上昇による増益
- **鋼管事業** : ✓ リグカウントの緩やかな増加に伴い、下半期より収益改善
- **その他非資源** : ✓ メディア・生活関連 国内主要事業会社、不動産事業 堅調
✓ 新規大型EPC案件 建設進捗
- **一過性損益** : ✓ (当期) 体質改善コスト (△200億円) を織り込み
✓ (前期) 減損損失等 あり

(参考) 主要指標	2016年度 実績	2017年度 通期予想
為替 (YEN/US\$)	108.38	110.00
金利	LIBOR 6M(YEN)	0.01%
	LIBOR 6M(US\$)	1.20%
銅※ (US\$/MT)	4,863	5,864
亜鉛 (US\$/MT)	2,367	2,650
ニッケル (US\$/lb)	4.55	4.60
鉄鉱石※ (US\$/MT)	59	70
原料炭 (US\$/MT)	165	150
原油	Brent※ (US\$/bbl)	44
	WTI (US\$/bbl)	48

*1 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金) × (1 - 税率) + 持分法による投資損益

*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

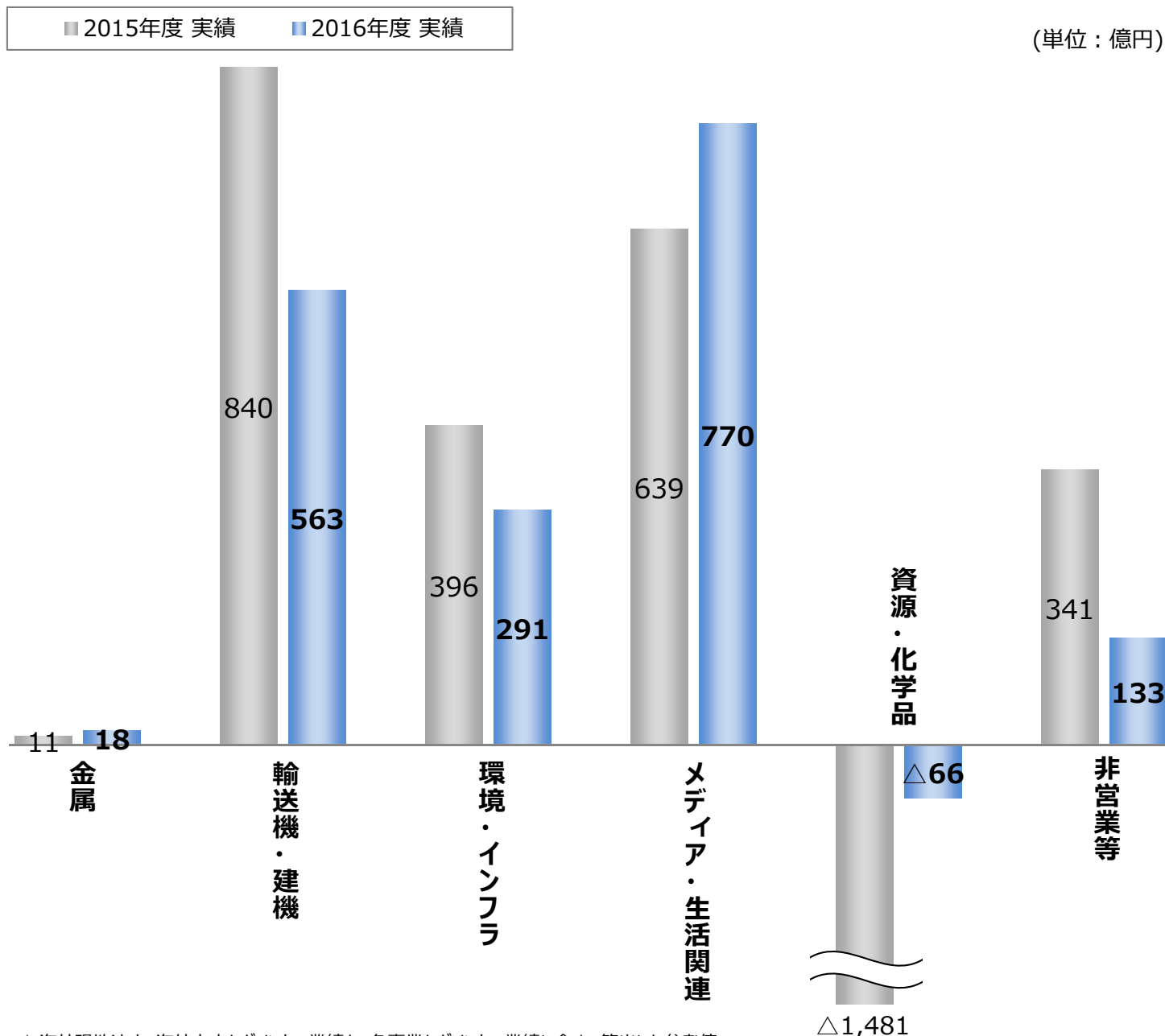
*3 2017年度通期予想における一過性損益 約△200億円は、体質改善コスト(戦略的に資産入替を実行する為の費用)を全社で予算化したもの

* ※印の商品は1-12月、その他の商品は4-3月の価格を記載
* 原料炭…強粘結炭(市場情報に基づく一般的な取引価格)

<p>基本方針</p>	<p>長期にわたり安定した配当を行うことを基本方針としつつ、中長期的な利益成長による1株当たりの配当額増加を目指す。</p>
<p>BBBO2017 配当方針</p>	<p>年間配当金50円/株を下限とし、連結配当性向25%以上を目安に、基礎収益やキャッシュ・フローの状況等を勘案の上、配当額を決定。</p>
<p>配当額</p>	<p>2016年度：50円/株（中間25円/株、期末25円/株（予定）） 2017年度：50円/株（予定）</p>

Appendix

5. 2016年度 セグメント別当期利益 実績 (グローバルベース*)



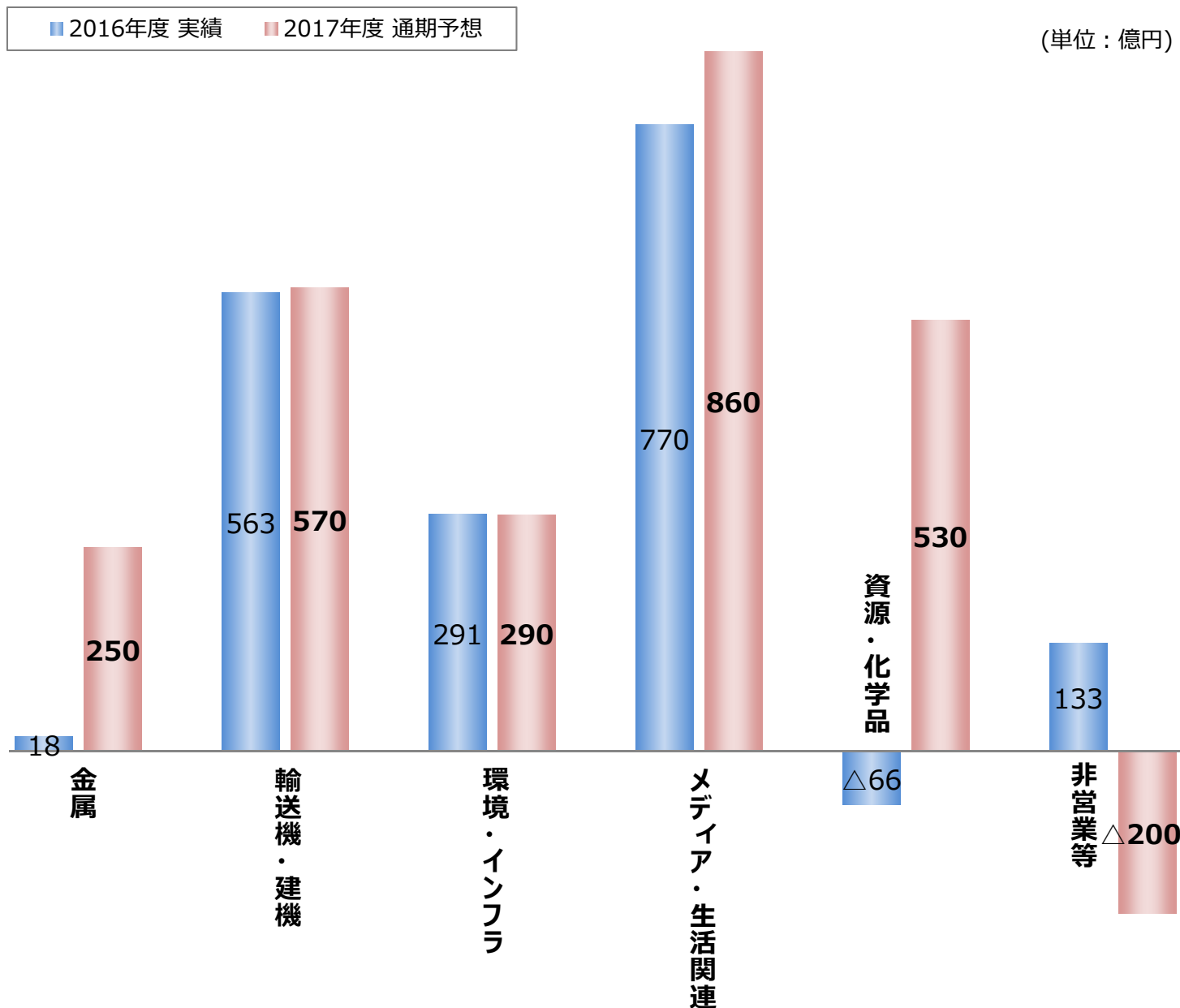
〈セグメント別業績概要〉

【2016年度実績の概要】

- **金属**
 - ✓ 北米鋼管事業 減益
 - ✓ 海外スチールサービスセンター事業 堅調
- **輸送機・建機**
 - ✓ 船舶事業 減益
 - ✓ リース事業、建機レンタル事業 堅調
 - ✓ 前期 インドネシア自動車金融事業 再編益あり
- **環境・インフラ**
 - ✓ 海外発電事業 堅調 及び 権益一部譲渡による一過性利益あり
 - ✓ 前期 再生可能エネルギー分野 におけるバリュー実現あり
- **メディア・生活関連**
 - ✓ 国内主要事業会社、不動産事業 堅調
 - ✓ 前期 豪州穀物事業 減損損失あり
- **資源・化学品**
 - ✓ ポルビア銀・亜鉛・鉛事業 源泉税に係る 税引当あるも事業堅調
 - ✓ 豪州石炭事業 増益
 - ✓ 減損損失減少

* 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、各事業セグメントの業績に含めて算出した参考値

6. 2017年度 セグメント別当期利益 通期予想 (グローバルベース*)



〈セグメント別業績概要〉

【2017年度通期予想の概要】

■ 金属

- ✓ 北米鋼管事業 収益改善
- ✓ 海外スチールサービスセンター事業 堅調
- ✓ 前期 一過性損失あり

■ 輸送機・建機

- ✓ 新興国における自動車販売事業 回復
- ✓ リース事業、建機レンタル事業 堅調

■ 環境・インフラ

- ✓ 海外発電事業 堅調
- ✓ 新規大型EPC案件 建設進捗

■ メディア・生活関連

- ✓ 国内主要事業会社、不動産事業 堅調
- ✓ 食料主要事業 回復

■ 資源・化学品

- ✓ 資源価格上昇の影響
- ✓ 前期 一過性損失あり

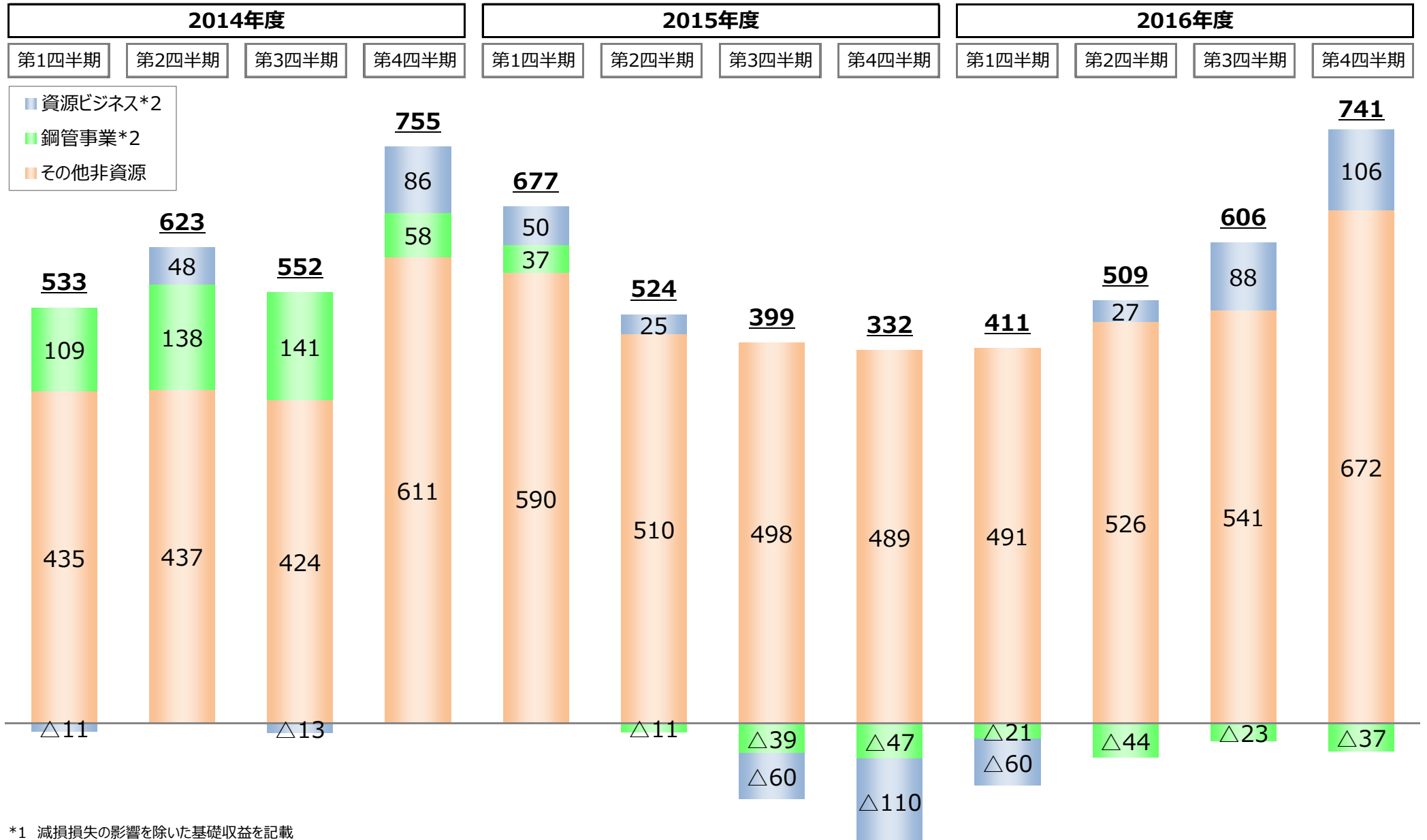
■ 非営業等

- ✓ 体質改善コスト (約△200億円) を織り込み

* 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、各事業セグメントの業績に含めて算出した参考値

7. 基礎収益*1 四半期推移

(単位：億円)



*1 減損損失の影響を除いた基礎収益を記載

*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

8. 要約連結包括利益計算書

(単位：億円)	2015年度 実績 (2015/4-2016/3)	2016年度 実績		前期比		2016年度実績の概要
		(2016/4-2017/3)	(2017/1-3)	金額	増減率	
収益	40,108	39,970	11,421	△138	△0%	«売上総利益» 【減益要因】 ・インドネシア自動車金融事業等 持分法化の影響 ・北米鋼管事業 減益 ・円高による影響 【増益要因】 ・ホリビア銀・亜鉛・鉛事業 増益 ・豪州石炭事業 増益 ・SCSK 堅調 «持分法による投資損益» ・ジュピターテレコム 堅調 ・リース事業 堅調 ・減損損失減少 «有価証券損益/固定資産損益/その他の損益» ・前期 インドネシア自動車金融事業再編益あり ・当期 ホリビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当あり ・減損損失減少 «法人所得税費用» ・過年度減損案件に係る税効果の戻り益あり
売上総利益	8,941	8,427	2,318	△514	△6%	
販売費及び一般管理費 (内、貸倒引当金繰入額)	△7,627 (△104)	△ 6,938 (△23)	△1,872 (△25)	690 (81)	9% (78%)	
利息収支	△26	△ 17	△5	9	34%	
受取配当金	106	94	25	△13	△12%	
持分法による投資損益	△538	835	402	1,373	-	
有価証券損益	722	129	131	△593	△82%	
固定資産損益	△334	△ 197	△174	138	41%	
その他の損益	158	△ 201	△95	△360	-	
税引前利益	1,401	2,131	730	730	52%	
法人所得税費用	△515	△ 259	△87	257	50%	
当期利益	886	1,872	643	986	111%	
当期利益の帰属：						
親会社の所有者	745	1,709	594	963	129%	
非支配持分	140	163	49	23	16%	
基礎収益*	465	1,931	741	1,466	315%	
包括利益 (親会社の所有者に帰属)	△1,644	1,697	271	3,341	-	

* 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金) × (1 - 税率) + 持分法による投資損益

9. 主要経営指標

BE THE BEST. BE THE ONE

	2015年度実績 (2016/3末)	2016年度実績 (2017/3末)	2017年度予想 (2018/3末)
当期利益	745億円	1,709億円	2,300億円
総資産	7兆8,178億円	7兆7,618億円	8兆円
株主資本	2兆2,515億円	2兆3,665億円	2兆5,000億円
株主資本比率	28.8%	30.5%	30%程度
有利子負債(Net)	2兆7,703億円	2兆6,279億円	2兆7,000億円
DER(Net)	1.2倍	1.1倍	1.1倍程度
ROA	0.9%	2.2%	2.5%以上
ROE	3.2%	7.4%	9.0%程度
リスク・リターン	3.2%	7.7%	9.0%以上
基礎収益キャッシュ・フロー	+2,043億円	+2,106億円	3年合計 +6,000億円
フリーキャッシュ・フロー	+5,143億円	+1,651億円	3年合計 +7,000億円
配当後フリーキャッシュ・フロー	+4,519億円	+1,027億円	3年合計 +5,000億円
リスクアセット [RA]	2兆2,000億円	2兆2,400億円	2兆4,000億円
コア・リスクバッファ [RB]*	2兆1,400億円	2兆2,200億円	2兆4,000億円
(コアRB-RA)	(△600億円)	(△200億円)	バランス回復

* コア・リスクバッファ = 資本金 + 剰余金 + 在外営業活動体の換算差額 - 自己株式

10. セグメント別投資実績

	投資額（億円）		中期経営計画期間中の 主な投資実績
	実績 (15/4-17/3)	3年合計計画 (15/4-18/3)	
金属	370	1,200	<ul style="list-style-type: none"> ・米国 車軸加工事業 ・欧州 自動車用鍛造部品事業
輸送機・建機	1,520	2,800	<ul style="list-style-type: none"> ・米国 建機レンタル事業 100%子会社化 ・ブラジル 風力発電向け鍛造品製造・販売事業
環境・インフラ	780	1,400	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州 洋上風力発電事業 ・国内 バイオマス発電事業
メディア・生活関連	2,140	2,800	<ul style="list-style-type: none"> ・アイルランド 青果物生産・卸売企業（Fyffes社） ・国内外不動産事業
資源・化学品	1,360	1,800	<ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア マンガン製造販売事業 ・マダガスカル ニッケル事業
(内、上流権益)	(1,200)	(1,400)	
合計	6,100	10,000	